



マイコプラズマ肺炎について

「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。マイコプラズマ肺炎は、秋冬にやや増加する傾向がありますが一年を通じてみられます。

感染経路は？

感染した人のせきのしぶきを吸い込んだり、感染者と接触したりすることにより感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2~3週間くらいとされています。

どんな症状？

発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。せきは少し遅れて始まることもあります。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。



治療方法は？

マクロライド系などの抗菌薬で治療されます。軽症で済む人が多いですが、重症化した場合には、入院して治療が行われます。せきが長引くなどの症状がある時は、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

予防方法は？

普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

定点種別	疾患名	状況	21週(5/19~5/25)		22週(5/26~6/1)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	-	19	0.76	9	0.36
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	29	1.16	24	0.96
	急性呼吸器感染症(ARI)	/	1569	62.76	1638	65.52
小児科	RSウイルス感染症	/	1	0.06	1	0.06
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	4	0.25	7	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	23	1.44	20	1.25
	感染性胃腸炎	-	82	5.13	49	3.06
	水痘(みずぼうそう)	-	2	0.13	4	0.25
	手足口病	-	6	0.38	6	0.38
	伝染性紅斑(りんご病)	-	21	1.31	19	1.19
	突発性発しん	/	17	1.06	13	0.81
	ヘルパンギーナ	-	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	3	0.19
眼科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	4	0.80	6	1.20
基幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	3	0.60	7	1.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	3	0.60	3	0.60

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし